

令和3年度当初予算案

(令和2年度2月補正含む)

主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主要事項説明資料目次

農 林 水 産 部

ページ	事業名	担当課
1	日本型直接支払事業費	農村振興課、農産課
2	京都農人材育成強化事業費	経営支援・担い手育成課、畜産課
3	京都移住促進プロジェクト事業費	共通
4	京ものブランド力向上総合戦略事業費	各課
5	農村型小規模多機能自治推進事業費	農村振興課、経営支援・担い手育成課
6	京都農業経営強化事業費	農産課
7	集落連携100ha農場づくり事業費	農村振興課、経営支援・担い手育成課
8	「京都ブランド米」新展開事業費	農産課
9	「農・観」連携による地域観光エリア創出事業費	農村振興課
10	「食の京都」推進事業費	共通
11	きょうと食いく先生活動拡大・強化事業費	農政課
12	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	農政課
13	スマート農林水産業加速事業費	流通・ブランド戦略課、農産課
14	宇治茶ブランド世界発信事業費	農産課
15	京都畜産未来の担い手づくり事業費	畜産課
16	林業「森世紀」創造戦略事業費	共通
17	次世代林業を担う林業事業体総合支援事業費	林業振興課
18	森林経営管理制度市町村支援事業費	森の保全推進課、林業振興課
19	京都モデルフォレスト推進事業費	森の保全推進課
20	森林災害防止事業費	森の保全推進課、林業振興課
21	有害鳥獣総合対策事業費	農村振興課
22	未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業費	水産課
23	海洋調査船建造費	水産課
24	農林水産業基盤整備事業費	共通
25	府内産農産物継続生産支援事業費	農産課

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	日本型直接支払事業費		新規・継続の別		継 続	
	予 算 額	1,447,700千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
			975,600	—	—	472,100
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の共同活動（農と環境を守る地域協働活動支援事業）、中山間地域等における農業生産活動（中山間地域等直接支払事業）、自然環境の保全に資する農業生産活動（有機農業・環境調和型農業支援事業）を支援することで、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図る。</p>					
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 農と環境を守る地域協働活動支援事業 A 911,000千円 農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域コミュニティの構築による地域力再生を図るため、地域ぐるみでの地域資源の基礎的保全活動、質的向上活動や施設の長寿命化のための活動を支援</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払事業 A 509,000千円 急傾斜地・緩傾斜地の農業生産条件が不利な中山間地域等において農業生産活動を維持するための活動を支援</p> <p>(3) 有機農業・環境調和型農業支援事業 B 27,700千円 化学肥料と化学農薬の5割削減に加え、有機農業をはじめとする地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援</p>					
担当課・係名	A 農村振興課 里 力 再 生 係			電話番号		075-414-4906
	B 農 産 課 環 境 に や さ し い 農 業 推 進 係					075-414-4944

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都農人材育成強化事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	473,739千円	国庫	起債	その他	一般財源
		405,929	－	20,873	46,937
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>攻めの農業への転換を図るため、オール京都体制で「京都農人材育成センター」を運営し、京の農業応援隊（農業改良普及センターなど）による技術研修などの伴走支援に加え、段階に応じた経営研修を一体的に実施することで、高度な経営感覚を持つ農人材を育成する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <p>（1）京都農人材育成センター事業 A 34,696千円</p> <p>①人材確保事業 「農林水産業ジョブカフェ」「就農インターンシップ」「農業経営チャレンジ支援」により、新規就農・就業の相談から体験・研修・就農・就業までをトータルで支援</p> <p>②人材育成事業 農業者のそれぞれの段階に応じた研修を企画、実施</p> <p>（2）人材育成支援事業 AB 439,043千円</p> <p>「農業次世代人材投資事業」「宇治茶実践型学舎事業」「畜産人材育成推進事業」等により、高い農業技術や経営能力を備えた次代の担い手を育成するため、研修中や就農直後の生活安定の資金支援や専門的な研修を行い、就農から定着までを多面的に支援</p>				
担当課・係名	A 経営支援・担い手育成課 B 畜 産 課	新規就業・人材育成係 地域営農推進係 畜産振興係	電話番号	075-414-4942 075-414-4908 075-414-4983	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

商工労働観光部
農林水産部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費		新規・継続の別		継続	
	予算額	180,741千円	国庫	起債	その他	一般財源
			7,628	—	—	173,113
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした都市との共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力ある地域を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都で「夢実現」住まいづくり事業費 68,400千円 ② 空家改修、企業や市町村と連携した賃貸住宅等の整備により、移住者のニーズに応じた住まいづくりを支援</p> <p>(2) 京都で「夢実現」仕事づくり事業費 59,171千円 ①②③ 営農活動支援に加え、首都圏在住者向けUIJターン就職支援窓口の設置、HPによる府内企業・求人情報発信等を通じて、移住者のニーズに応じた仕事づくりを支援</p> <p>(3) 京都で「夢体験」未来交流事業費 3,000千円 ② 農林漁業体験民宿の開設や2地域居住者向けの住宅改修の支援等により、農村と都市の交流を促進</p> <p>(4) 京都移住促進事業費 50,170千円 ② 京都移住コンシェルジュによる相談、「税の軽減+補助金の交付+金利負担の軽減」のパッケージによる移住者の伴走支援や京都府空家利活用プラットフォームによる空家掘り起こしを促進</p>					
担当課・係名	①人材確保推進室 ②農村振興課 ③経営支援・担い手育成課	人材確保推進係 移住促進係 新規就業・人材育成係 農地活用係	電話番号		075-692-3232 075-414-4906 075-414-4942 075-414-4902	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢実現」住まいづくり事業費		新規・ 継続の別		継 続	
	予 算 額	国 庫	起 債	その他	一般財源	
		68,400千円	—	—	—	68,400
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者を確保するため、空家改修、企業や市町村と連携した賃貸住宅等の整備により、移住者のニーズに応じた住まいづくりを支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>「移住促進特別区域」内における住まいの設置を重点的に支援</p> <p>(1) 企業連携タイプ（企業連携移住促進事業） 地域協議会等と連携する企業、団体等の、移住者の確保を目的とした住まい（宿舍、賃貸住宅等）の設置を支援 補助率等：府1/3（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>(2) 市町村連携タイプ（「こだわりの住まい」まちづくり事業） 市町村が実施する、府内産木材の活用等によるこだわりの移住者向け住まいの施設整備を支援 補助率等：府1/2（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>(3) ホームシェアタイプ（ホームシェア移住支援事業） 地域住民の自宅の一部（いわゆる「離れ」を想定）を賃貸等する場合の整備を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限1,000千円/戸）</p> <p>(4) 空家活用タイプ（空家活用移住促進事業）</p> <p>① 移住促進住宅整備事業 取得又は賃借等した空家の改修に要する経費を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>② 空家流動化促進事業 空家を移住者に売却・賃貸するために必要な家財の撤去等を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限100千円/戸）</p>					
担当課・係名	農 村 振 興 課 移 住 促 進 係		電話番号		075-414-4906	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

商工労働観光部
農林水産部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢実現」仕事づくり事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予 算 額	59,171千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		6,128	—	—	53,043
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者を確保するため、企業のサテライトオフィス誘致や営農活動支援、UIJターンコーナー・ナビの設置等により、移住者のニーズに応じた仕事づくりを支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 移住者起業支援事業費 ② 小規模店舗・事務所等の開設に必要な設備整備等を支援 補助率等：府1/3、市町村1/3(補助対象事業費：上限 4,500千円)</p> <p>(2) 移住者営農支援事業費（京都農人材育成強化事業費の一部再掲） ③ 多様な担い手（移住者）の営農活動の実践に必要な技術習得から、機械整備、地域定着までを支援</p> <p>(3) 還流人材獲得プロジェクト事業費 ① 京都ジョブパークにUIJターンコーナーを設置するとともに、ふるさと回帰支援センターに首都圏在住者向けUIJターン就職支援窓口を設置して首都圏在住者への府内企業情報発信やマッチング支援を実施し、府内へのUIJターン就職を推進</p>				
担当課・係名	①人材確保推進室 ②農村振興課 ③経営支援・担い手育成課	人材確保推進係 移住促進係 新規就業・人材育成係 農地活用係	電話番号	075-692-3232 075-414-4906 075-414-4942 075-414-4902	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢体験」未来交流事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	3,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		1,500	—	—	1,500
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者の確保につなげるため、農林漁業体験民宿の開設や2地域居住者向けの住宅改修の支援等により、農村と都市の交流を促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>京のふるさと暮らし体験推進事業費 滞在型農山漁村体験の受入に必要な施設や住宅の改修を支援し、農林漁業体験民宿や2地域居住の拡大を推進</p> <p>① 滞在型農山漁村体験施設 実施主体：農林漁業者等であって、農村・山村・漁村滞在活動に必要な役務を提供できる者 ※教育体験旅行を実施する地域協議会に宿泊体験受入の登録をすること、又は移住促進特別区域・命の里事業実施地域・小規模多機能自治推進事業実施地域のいずれかに施設を開設すること 補助率等：府1/2（補助対象事業費：上限 3,000千円）</p> <p>② 滞在型交流農園施設 実施主体：2地域居住等の希望者に宿泊可能な施設と農地をセットで貸し付け農業指導等が行える者 補助率等：府3/10（補助対象事業費：上限 6,000千円）</p>				
目的 対象 方法等					
担当課・係名	農 村 振 興 課	移 住 促 進 係	電話番号	075-414-4906	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農林水産部

事業名	京ものブランド力向上総合戦略事業費		新規・ 継続の別	新規		
予算額	163,200千円		国庫	繰入金	その他	一般財源
			138,100	—	—	25,100
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 食の外部化やネット通販の一般化、さらには新型コロナウイルス感染症の影響による外食から内食・中食へのシフトなど、ライフスタイルや消費動向の変化へ素早く対応し、国内外における府内産農林水産物・加工品（京もの）のブランド力・販売力を強化するため、国内の「中食」マーケットにおけるビジネスモデルの構築や海外販路拡大等を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 未来の「京都プレミアム中食」創出促進事業 A 72,000千円 府内産農林水産物の中食向け需要を拡大するため、その象徴となる京の食文化や健康機能性等の付加価値を有する最高品質の「京都プレミアム中食」の開発や中食マーケットにおけるビジネスモデルの構築等を支援</p> <p>(2) 京もの輸出拡大戦略推進事業 ABC 67,700千円</p> <p>①京もの世界発信展開事業 海外において、宇治茶、日本酒、京野菜、牛肉等京ものを一体として消費者向けにPRするため、「京ものフェスティバル」の開催やオンライン料理教室等の取組を支援</p> <p>②京もの輸出体制強化・開拓推進事業 香港、シンガポール、EUにおいて、京ものの情報発信や販路開拓を行う「京もの伝道師」を配置し、輸出拡大を図るとともに、輸出先国の規制・ニーズに対応した産地づくりや需要拡大を推進</p> <p>③農林水産物輸出チャレンジ支援事業 府内産農林水産物の輸出強化のため、これから輸出に取り組む経営体向けの相談窓口の設置や専門家派遣による助言・指導を実施</p> <p>(3) 京もの需要拡大国内戦略事業 A 23,500千円 ニューノーマルの生活様式に即した小売向け販売促進対策や実需者向けのPR等の取組を支援</p>					
担当課・係名	A 流通・ブランド戦略課	ブランド推進係	電話番号		075-414-4941	
	B 農 産 課	京の米・豆・保険係 宇治茶・特産振興係			075-414-4953	
	C 畜 産 課	畜産振興係			075-414-4944 075-414-4983	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	農村型小規模多機能自治推進事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	150,595千円	国庫	起債	その他	一般財源
		24,550	—	18,000	108,045
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援し、トータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ（農村型CMO（※））を形成する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>（※）農村型CMO 地域活動と収益活動を一体的に運営する農村コミュニティ法人</p>				
	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 農山漁村コミュニティ維持強化学業費 92,500千円①② 地域内外の人材の巻き込み、コミュニティの組織化等活動の基盤づくりを支援</p> <p>(2) 農山漁村ビジネス強化学業費 34,000千円 ① 地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業参画のビジネス、コミュニティ組織の法人化を支援</p> <p>(3) 農山漁村コミュニティ伴走支援事業費 24,095千円 ① 里の公共員（半公半民）等の配置・派遣等により、組織づくりからビジネス展開まで地域活動を伴走支援</p>				
担当課・係名	①農村振興課 里力再生係		電話番号	075-414-4906	
	②経営支援・担い手育成課 農地活用係			075-414-4902	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	農村型小規模多機能自治推進事業費 農山漁村コミュニティ維持強化事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	92,500千円	国庫	起債	その他	一般財源
		2,550	－	18,000	71,950
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 地域内外の人材の巻き込み、コミュニティの組織化等活動の基盤づくりを支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農村コミュニティ再構築支援 A ①農村コミュニティ再構築サポート 地域共同活動の合理化や近隣集落との連携を支援 実施主体：京都府 ②地域共同活動合理化支援 地域共同活動の合理化に向けたICT技術等の導入を支援 定額補助（上限200千円）</p> <p>(2) 新農山漁村コミュニティ形成支援 A 移住促進などの「コミュニティ維持強化」や「なりわい」づくりなどの「ビジネス強化」に向けて行う計画づくりを支援 補助率等：1/2（補助対象事業費：上限1,000千円）</p> <p>(3) 参加型住民（地域外ファン）づくり A 地域の協働活動などに参画する参加型住民（地域外ファン）を増やすため、地域が実施するフィールドワーク活動などを支援 定額補助（上限200千円）</p> <p>(4) 地域営農継続支援 B 半農半Xの実践に必要な小型農業用機械の整備を支援 補助率等：府1/3、市町村1/3（補助対象事業費：上限1,500千円）</p> <p>(5) 空家改修移住促進（京都で「夢実現」住まいづくり事業費の一部再掲） A ①移住促進住宅整備事業 取得又は賃借等した空家の改修に要する経費を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限1,800千円） ②空家流動化促進事業 空家を移住者に売却・賃貸するために必要な家財の撤去等を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限100千円）</p> <p>(6) 野生鳥獣生活被害防止対策 A 防護柵の設置など、生活圏内における被害を防止する取組を支援 補助率等：1/2（補助対象事業費：上限4,500千円）</p>				
担当課・係名	A 農 村 振 興 課 B 経営支援・担い手育成課	移 住 促 進 係 里 力 再 生 係 農 地 活 用 係	電 話 番 号	075-414-4906 // 075-414-4902	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	農村型小規模多機能自治推進事業費 農山漁村ビジネス強化事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	34,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		22,000	－	－	12,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業参画のビジネス、コミュニティ組織の法人化を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 「なりわい」づくり 地域が自ら経営する「なりわい」の創出や発展の取組を支援 補助率等：1/2(過疎化・高齢化地域は2/3以内) (補助対象事業費：上限4,500千円)</p> <p>(2) ジビエ利用促進（有害鳥獣総合対策事業費の一部再掲） 捕獲個体のジビエ利用を促進する狩猟捕獲等を支援</p> <p>(3) 農山漁村ビジネス発展 地域資源を活かした経済活動について、サービス系企業等を誘引・提携して展開・拡充するための経費を支援し、経済界やDMO等とも連携して地域外へ発信 補助率等：2/3以内（補助対象事業費：上限15,000千円）</p> <p>(4) 農山漁村コミュニティ体制強化 地域のトータルマネジメントを発揮するための法人化や農村型CMOの設立に向けて、専門家による指導を受けるための経費等を支援 補助率等：1/2（補助対象事業費：上限1,000千円）</p>				
担当課・係名	農 村 振 興 課 里 力 再 生 係 野 生 鳥 獣 係		電話番号	075-414-4906 075-414-5029	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都農業経営強化事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	105,996千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	102,000	—	3,996
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産農産物を求める外食産業等の企業ニーズと生産者を結びつけ、マーケットインによる儲かる農業を実現する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京野菜生産加速化事業費 105,100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド京野菜等の生産に必要な機械等の導入を支援 ・京都府特産物育成協議会の設置等 <p>(2) 「京の食 6次産業化を進める経済人会」活動支援事業費 896千円</p> <p>実需者からのニーズに基づいた農産物の安定供給体制を図るため、生産現場の課題解決に係る取組を支援</p>				
担当課・係名	農 産 課 京 野 菜 振 興 係	電話番号		075-414-4953	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	集落連携100ha農場づくり事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	86,850千円	国庫	起債	その他	一般財源
		27,675	－	5,000	54,175
事業内容	<p>1 趣 旨 複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業連携による人材確保を支援することにより、メガ団地（100ha農場）を形成する営農モデルを構築し、持続可能な地域農業を創出する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 稲作・園芸規模拡大支援事業費 B 71,850千円</p> <p>①計画策定支援事業 集落連携や収益性の高い作物の導入等の革新的な営農計画の作成に取り組む地域組織に対し、「集落連携100ha農場づくり推進チーム（仮称）」の伴走支援等により、計画作成及び実践を支援</p> <p>②企業連携支援事業 集落営農組織等の経営強化のためのスキルを持った人材不足を解消するため、民間企業からノウハウを持つ社員を受け入れるためのかかり増し経費等を支援</p> <p>③100ha農場づくり準備事業 集落営農組織等による規模拡大や高収益作物の生産など収益力向上に向けた新規導入作物の試験栽培や農業用施設・機械の整備を支援</p> <p>(2) 広域的農地（100ha）管理体制構築事業費 A 15,000千円 農地管理を専門的かつ広域に請け負う事業体の形成による新たな農地管理手法の確立に向け、スマート技術導入によるコスト低減効果等の実証調査を実施するとともに、ラジコン草刈り機等の農地管理の省力化に資する機械導入を支援</p>				
担当課・係名	A 農村振興課 B 経営支援・担い手育成課	里力再生係 新規就業・人材育成係 地域営農推進係	電話番号	075-414-4906 075-414-4942 075-414-4908	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	「京都ブランド米」新展開事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	73,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	73,000
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>新たに開発した京都府オリジナルブランド米「京式部」のブランド化を戦略的に進めるとともに、「京の米」の高品質化と知名度向上を推進し新たな市場・販路拡大を展開する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 新京都ブランド米「京式部」PR戦略事業費 10,000千円 令和3年度から府内限定で本格販売を実施するオリジナルブランド米「京式部」の高級京料理店や米穀専門店等での新米販売キャンペーンなど戦略的なPRを推進</p> <p>(2) 「京の米」ベンチャーコンペティション事業費 3,000千円 「京の米」の市場評価の向上を図るため、おいしい米のコンテストを開催するとともに、ニーズに対応した良食味米を生産するための取組を支援</p> <p>(3) 「京の米」生産イノベーション事業費 60,000千円 需要に対応した生産販売の高度化に必要な機械・施設等の導入を支援</p>				
担当課・係名	農 産 課	京の米・豆・保険係	電話番号	075-414-4953	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

政策企画部
農林水産部

事業名	「農・観」連携による地域観光エリア創出事業費		新規・継続の別	継続	
予算額	23,700千円	国庫	起債	その他	一般財源
		11,850	—	—	11,850
事業内容	<p>1 趣 旨 伝統的建造物を活用した宿泊施設の整備や野菜の収穫体験の実施等農山漁村の実りや暮らしを体験できる地域資源を磨き上げ、エリア全体を滞在施設化する取組を支援</p> <p>2 事業概要 (1) 伝統的建造物活用宿泊施設等整備推進事業費 2,700千円 ①</p> <p>地域、市町村、DMO、金融機関等で組織する推進体制を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設として活用できる物件及び事業者の掘り起こし ・ 専門家を招聘し、事業の実現可能性とビジネス化の適否を判断 ・ 物件と事業者の具体的なマッチング <p><府・DMOの役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家を交えた推進体制の構築 ・ 宿泊施設を中心とした体験プログラムの商品化、ツアー造成 <p><市町村の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地域や物件の情報収集・提供 ・ 宿泊施設開設に向けた地元調整 <p>(2) 「農・観」連携地域コミュニティ応援事業費 21,000千円 ②</p> <p>①地域ブランディング推進事業 農山漁村地域のブランディングを担う人材の活動に要する経費を支援 補助率等：定額（補助対象事業費：上限1,000千円/地区）</p> <p>②地域内集落景観整備事業 ARマーカー看板設置、休憩・案内施設等の集落内環境・景観整備等に要する経費を支援 補助率等：1/2（補助対象事業費：上限10,000千円/地区）</p>				
担当課・係名	①企画参事（北部担当） 企画参事（中部担当・府民協働担当） 企画参事（南部担当）		電話番号	075-414-5743	
	②農村振興課 里力再生係			075-414-4385 075-414-4513 075-414-4906	

令和3年度 当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

政策企画部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	「食の京都」推進事業費		新規・継続の別		一部新規	
	予算額	国庫	起債	その他	一般財源	
		105,300千円	49,400	—	—	55,900
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした観光誘客を促進するため、「食の京都」をキーワードに地域のいちおし食材を活用した地域の魅力向上・消費地での認知度向上を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」にまつわる体験の商品化に向けた磨き上げ等 ① 【新規】・広域振興局と連携したいちおし食材の発掘や新メニュー・商品開発（再掲） ② ・「食の京都TABLE」の施設整備と、新たな拠点候補に向けた研修会の実施 ③ <p>(2) 地域の食材の認知度向上・販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食の京都」特選フェアの実施 ③ ・京都市主催の食のイベント参加店舗を対象に府内産食材をPR ③ <p>(3) 「食の京都」の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアを招へいするツアー実施や、メディア等との連携ネットワークによる情報発信の実施 ① ・メディア向けファクトブックの充実 ① 					
担当課・係名	①観光室 地域観光振興係 ②企画参事（北部担当） ②企画参事（中部担当・府民協働担当） ②企画参事（南部担当） ③流通・ブランド戦略課 ブランド推進係 アグリビジネス戦略係		電話番号		075-414-4841 075-414-5743 075-414-4385 075-414-4513 075-414-4941 075-414-4964	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	きょうと食いく先生活動拡大・強化事業費		新規・ 継続の別	一部新規		
予算額	9,342千円		国庫	起債	その他	一般財源
			7,211	—	—	2,131
事業内容	<p>1 趣 旨 「きょうと食いく先生」の派遣、地域の食育支援活動、若い世代を対象とした食育出前講座の開催等により体験型食育を強化し、地域や府民の食育を推進する。</p>					
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <p><u>(1)食いく先生派遣事業</u> 1,940千円 学校、保育所等へ「きょうと食いく先生」等を派遣</p> <p><u>(2)食いく先生交流・スキルアップ等事業</u> 382千円 「きょうと食いく先生」と教育関係者との交流会、養成講座等を開催</p> <p><u>(3)オンライン食育実践事業（新規）</u> 780千円 WITH コロナ社会に対応した、オンラインによる体験型食育のモデル的な取組を実施</p> <p><u>(4)地域食育支援事業</u> 800千円 ①NPOや地縁団体等による地域に根ざした食育活動を支援 ②広く府民に食育の重要性を浸透させるための食育シンポジウム、パネルディスカッションの開催</p> <p><u>(5)ヤング食育強化事業</u> 200千円 若い世代を対象とした食育出前講座など、次世代への食育を実施</p> <p><u>(6)市町村食育推進事業</u> 5,240千円 市町村の食育推進リーダーの活動などを支援</p>					
担当課・係名	農 政 課	食の安全・食育係	電話番号	075-414-5656		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

健康福祉部
農林水産部

事業名	きょうと「食の安心・安全」確保事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予 算 額	23,158千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		1,780	-	1,970	19,408
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 食の安心・安全行動計画等を踏まえ、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食に関する情報発信、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>○ 食の安心・安全情報発信 (319千円) ② リスクコミュニケーション等の実施により、府民の食に対する不安を解消するとともに、「食の府民大学」講座の充実により、府民の「食」に関する学習環境を整備するなど、府民の食の選択力向上を図る。</p> <p>○ 食品衛生監視指導 (10,433千円) ① 食品衛生法改正に伴うHACCP（ハサップ）による衛生管理の制度化を踏まえ、事業者へ衛生管理の手法について啓発を行うとともに、食品衛生推進員「京の食“安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の放射性物質、添加物等の検査項目を充実し、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 食品検査 (3,684千円) ① 府内に流通している食品等の検査を行い、定期的に結果を公表して食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 遺伝子組換え食品検査 (3,682千円) ① DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 拠点保健所業務管理基準（GLP）導入 (3,510千円) ① GLP（業務管理基準）の導入により、精度管理体制を構築するとともに検証体制を整備し、検査の信頼性を確保する。</p> <p>○ 食品表示パトロール (1,530千円) ② 産地偽装など食品表示に関する事件が発生する中、関係職員が合同巡回調査を実施することにより違反事実に対率的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。</p>				
担当課・係名	①生活衛生課 食品衛生係 ②農政課 食の安全・食育係	電話番号	① 075-414-4773 ② 075-414-5656		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	スマート農林水産業加速事業費		新規・継続の別		継 続							
	予 算 額	213,800千円	国 庫	起 債	その他	一般財源						
			14,000	60,000	121,000	18,800						
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 生産現場の過疎高齢化による農林水産業の生産力低下と農山漁村コミュニティの衰退に対応するため、AI・ICT等先端技術を活用したスマート技術の実装を加速化し、農林水産業の作業性・品質・生産性を向上することで府内農林水産業の成長産業化と魅力向上、集落維持を実現する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 情報提供・技術相談 ①スマート農林水産業情報センター・先進技術発信事業費 5,000千円 A スマート技術を取扱う企業や専門家等による技術展示相談会の開催及びスマート農林水産技術に係るワンストップ相談窓口設置</p> <p>(2) 導入支援 ①スマート農林水産業実装チャレンジ事業費 50,000千円 A スマート技術（機械等）の導入に取り組む生産者を支援 補助率：1/2（水稻・酒米等） 4/10※（茶・京野菜、畜産、水産等） ※<table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">[</td> <td>中山間地域は4.5/10</td> <td style="font-size: 2em;">]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個別生産者は3/10</td> <td></td> </tr> </table> </p> <p>②ICT施設園芸モデル整備事業費 22,800千円 B 低コスト耐候性ハウス等の整備支援 補助率：3/10</p> <p>(3) 技術開発・実証 ①スマート農業加速化実証プロジェクト事業費 100,000千円 A モデル経営体においてスマート農業の技術を一貫体系で展示実証 【国のスマート農業加速化実証プロジェクトを活用】</p> <p>②京都イノベーション創造事業費 32,000千円 A 産官学連携によるコンソーシアムにより農林水産業のスマート化を図る技術メニューの開発・実証</p> <p>③次世代につなぐ営農体系確立支援事業費 4,000千円 B スマート技術の活用による生産性向上や作業の軽労化・効率化の実証を支援</p>						[中山間地域は4.5/10]		個別生産者は3/10	
[中山間地域は4.5/10]										
	個別生産者は3/10											
担当課・係名	A 流通・ブランド戦略課 B 農 産 課	研 究 推 進 係 京 野 菜 振 興 係 農 業 応 援 伴 走 支 援 係	電 話 番 号		075-414-4968 075-414-4953 075-414-4961							

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	宇治茶ブランド世界発信事業費		新規・ 継続の別	一部新規	
予算額	42,400千円	国庫	起債	その他	一般財源
		20,700	—	—	21,700
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>宇治茶の新たな市場・販路拡大を図るため、宇治茶のプレミアムブランド化や商標対策を推進するとともに、「京都市宇治茶普及促進条例」を契機とした茶業振興や世界文化遺産登録に向けた取組を展開する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>2 事業内容</p> <p>(1) 宇治茶新展開セカンドステージ事業費 2,750千円 瓶入り宇治茶「京都宇治玉露 玉兎」のプロモーションを強化するとともに、宇治茶機能性講座や体験型ワークショップ等を実施し、新たな需要を創造</p> <p>(2) 宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費 6,800千円 ユネスコの農業遺産プロジェクトや世界遺産委員会での宇治茶のPRなどを実施</p> <p>(3) 宇治茶商標関連対策事業費 2,850千円 中国メディアを活用した中国国内における「宇治」や「宇治茶」の発信とともにインターネットによる中国人等を対象としたアンケート調査を実施し、冒認商標取消の根拠となる「宇治」の認知度の高さを証明</p> <p>(4) 宇治茶産地体制強化事業費（新規）（一部再掲） 30,000千円 WITHコロナ・POSTコロナ社会における宇治茶の新たな市場・販路拡大を図るため、輸出対応産地の育成や改植等を支援</p>				
担当課・係名	農 産 課	宇治茶・特産振興係	電話番号	075-414-4944	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都畜産未来の担い手づくり事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	4, 1 1 9 千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	475	3, 644
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>畜産の担い手が減少する中、畜産経営の法人化を進めることで対外信用力の向上や就業条件の改善を図るとともに、畜産法人等への就業や新規就農希望者を幅広く確保し、後継者として育成する仕組みを構築する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 畜産人材育成推進事業（再掲） 3, 1 4 4 千円 畜産の担い手育成のため、農林水産技術センター畜産センターにおいて、基礎から実践的な技術や経営知識等の習得を行う「畜産人材育成研修」を実施</p> <p>(2) 畜産経営法人化推進事業 5 0 0 千円 経営移譲を希望する畜産農家の法人化を支援することにより、就業者の確保や第三者への経営継承を受け入れやすい体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営移譲希望農家の法人化研修・相談会の開催 ・ 定款作成、登記申請手続等法人設立に伴う経費の助成 <p>(3) 畜産経営継承円滑化事業 4 7 5 千円 経営の移譲を希望する畜産農家において新規就農者を対象とした研修を実施し、技術・経営力の習得支援や、円滑な経営継承を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トライアル研修（農家での試行研修を支援） ・ 経営継承サポート（融資計画など経営確立までを支援） 				
担当課・係名	畜 産 課 畜 産 振 興 係	電話番号		075-414-4983	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

政策企画部
農林水産部

事業名	林業「森世紀」創造戦略事業費		新規・ 継続の別	一部新規		
予算額	796,043千円 (うち2月補正 10,000千円)		国庫	起債	その他	一般財源
			39,950	-	747,493	8,600
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 森林防災機能の強化に資する森林整備を推進するとともに、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した川下～川上の総合対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 府内産木材需要拡大事業 ③ 106,993千円 府内産木材の利用を促進するため、住宅や商業施設等における需要を拡大するとともに、木製品の新規開発を支援 ○ひろがる京の木整備事業（一部新規） ○建築物木造木質化促進事業（新規）</p> <p>(2) 府内完結型木材産業構築事業 ③ 25,650千円 府内完結型の木材産業体制の構築に向け、府内産木材の競争力強化のための木材加工流通施設の整備を推進 ○府内産木材競争力強化事業 等</p> <p>(3) 木材生産パイオニア事業 ② ③ 448,400千円 (うち2月補正 10,000千円) 山地災害からの復旧や危険木の除去、今後の豪雨等による二次災害の未然防止を図るとともに、伐採後の再造林の促進支援、府民参加による里山林の整備等により豊かな森づくりを推進 ○森林防災機能強化事業（拡充） ○豊かな森づくり総合対策事業（一部新規） 等</p> <p>(4) その他 215,000千円 ○豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業 ② ○地域振興計画推進費（一部再掲）① 等</p>					
担当課・係名	①企画参事（北部担当） 企画参事（中部・府民協働担当） 企画参事（南部担当） ②森の保全推進課 企画・計画係 森林土木係 モデルフォレスト推進係 ③林業振興課 林業振興・府有林係 木材産業係 林業経営強化係		電話番号		075-414-5743 075-414-4385 075-414-4513 075-414-5016 075-414-5028 075-414-5005 075-414-5006 075-414-5009 075-414-5018	

「豊かな森を育てる府民税」を活用した事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算額	財源区分	
森林防災機能強化事業費（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民による森林の手入れ、危険木除去等を支援 ・ 流木の原因となる危険木、土砂等の撤去や簡易構造物の設置等 ・ 人家等に被害を与えるおそれのある区域における、危険木の除去や簡易防災施設の設置等 ・ 公共治山工事と一体的に行う府内産木材を利用した林内歩道等のアクセス整備 	343,000	繰入	343,000
豊かな森づくり総合対策事業費（一部新規）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工林の適切な伐採と再造林への支援や低コスト化に向けた検証等の実施 ・ 漆等の生産拠点の造成及び特用林産物生産林の維持造成等を支援 ・ 荒廃した里山の整備を府民公募により実施 ・ 地域住民による社寺の森の保全など、京の森林文化を将来に伝える取組を支援 	84,400	国庫 繰入 一財	950 82,500 950
ひろがる京の木整備事業費（一部新規）	住宅や商業施設などにおいて、府内産木材を利用した木造化や木質化、木製品の導入等を支援	105,493	繰入	105,493
建築物木造木質化促進事業費（新規）	建築物の木造・木質化に向けた建築技術講習会や建築分野における府内産木材の需要拡大に向けた協議会の開催	1,500	繰入	1,500
豊かな森林継承事業費	木材利用を促進するセミナーや林業技術のPR等の実施	5,000	繰入	5,000
地域振興計画推進費（一部再掲）	豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する広域振興局管内の森林・林業の特色に着目した事業の実施	10,000	繰入	10,000
小 計		549,393	国庫 繰入 一財	950 547,493 950
豊かな森を育てる府民税市町村交付金	豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する市町村事業に対する交付金	200,000	繰入	200,000
合 計		749,393	国庫 繰入 一財	950 747,493 950

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	次世代林業を担う林業事業体総合支援事業費		新規・継続の別	継 続	
予算額	370,472千円	国庫	繰入金	その他	一般財源
		41,152	50,378	267,392	11,550
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 生産性の向上と府内素材生産量の増加の実現による林業の成長産業化と適切な森林管理の両立を目指し、府内の林業を担う林業事業体の経営をソフト・ハードの両面で総合的に支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 経営力向上対策事業 250,500千円 経営改善に向けた取組の支援や運営経費の貸付等により、持続可能な林業経営の確立を推進 ○林業事業体経営力強化事業 経営力強化のための集合研修の実施や経営診断に要する経費を支援 ○国産材振興対策事業 等</p> <p>(2) 人材確保対策事業 81,272千円 林業の将来を担う担い手の確保・育成のため、就業環境の改善に向けた取組を実施 ○林業担い手新規就業支援事業 林業事業体を実施する新規就業者の移転費用補助に係る経費を支援 ○林業大学生府内就業応援事業 林業大学生がインターンシップに参加するために要する宿泊費を支援 ○森林整備担い手対策事業 等</p> <p>(3) 生産量増大対策事業 9,100千円 府内林業事業体の素材生産量の増大の実現に向け、新たな木材需要に対応するための生産体制の整備を推進 ○府内産木材生産増大支援事業 木質バイオマスの生産に要する経費支援や生産・輸送の低コスト化の実証事業を実施</p> <p>(4) 生産性向上対策事業 29,600千円 府内林業事業体の生産性向上に向け、高性能林業機械の導入支援や先端技術を搭載した林業機械の操作研修を実施 ○林業事業体経営基盤強化事業 高性能林業機械のレンタルに要する経費を支援 ○先端技術導入チャレンジ事業 先端技術を搭載した高性能林業機械等の操作研修を実施</p>				
担当課・係名	林業振興課	林業振興・府有林係 木材産業係 林業経営強化係	電話番号	075-414-5006 075-414-5009 075-414-5018	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	森林経営管理制度市町村支援事業費		新規・ 継続の別	一部新規	
予算額	100,114千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	100,114	—
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>森林経営管理制度（※）の円滑な運用のため、市町村への技術的支援や職員研修に加え、業務推進ツールの作成等を実施し、市町村が行う取組への支援を強化する。</p> <p>（※）森林経営管理制度 森林を市町村が適正に管理するため、林業経営の適否に応じて意欲と能力のある林業経営者に委託又は市町村自ら経営管理を行うもの</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 森林情報高度利活用推進事業（新規） A 68,114千円 林業経営の可否判断に必要な収支予測等のシミュレーションや集積計画の作成が可能な業務推進ツールを開発し、市町村による森林所有者の意向調査等の効率化を支援</p> <p>(2) 森林経営管理企画支援事業 A 23,000千円 市町村の取組進度に応じて、森林整備の企画・立案（コーディネート）を行うとともに、技術的支援を行う相談窓口を設置</p> <p>(3) 森林経営管理市町村職員応援事業 B 3,000千円 市町村職員を対象に、森林計画・経営手法等をはじめとした専門的な知識・技術に関する研修を実施</p> <p>(4) スマート林業推進事業（新規） B 6,000千円 高性能林業機械のシミュレーターを林業大学校に配備し、林業大学校において実施する研修に活用するとともに、府内林業事業体を対象にドローン操作技術研修を実施</p>				
担当課・係名	A 森の保全推進課 企画・計画係 B 林業振興課 林業経営強化係		電話番号	075-414-5016 075-414-5018	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京都モデルフォレスト推進事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	5,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		3,000	—	—	2,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 府民参加型モデルフォレスト推進事業 府民参加の森林づくり活動を推進するとともに、(公社)京都モデルフォレスト協会が行う取組を支援</p> <p>(2) 森づくり交流促進事業 モデルフォレスト活動に関心のあるNPOや企業等と地域とのマッチングや森林づくり活動団体等の交流を促進</p>				
担当課・係名	森の保全推進課 モデルフォレスト推進係		電話番号	075-414-5005	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	森林災害防止事業費		新規・継続の別		継 続	
	3,641,634千円 (うち2月補正1,196,000千円)	国 庫	起 債	その他	一般財源	
予 算 額		1,447,404	1,767,000	425,500	1,730	
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>森林が有する災害防止機能を高度に発揮させるため、森林整備等を実施し、防災・減災対策を強化することにより、府民の安心・安全を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 森林所有者等による取組が困難な危険箇所への対策</p> <p>①森林防災機能強化事業(再掲) A 343,000千円 山地災害からの復旧や今後の豪雨等による二次被害からの未然防止を図るため、危険木の除去や簡易防災施設の設置等を実施</p> <p>②災害に強い保安林整備事業 A 320,000千円 渓流等における治山ダム工等の設置や、間伐等による森林整備を実施</p> <p>③農林水産業基盤整備事業(治山) A 2,081,551千円 (うち2月補正 936,000千円) 土砂や危険木の流出を抑制するための治山施設の設置等を実施</p> <p>(2) 森林所有者等による風倒木等処理 ・農林水産業基盤整備事業(造林) B 812,683千円 (うち2月補正 260,000千円) 間伐・再造林及び風倒木除去等による森林整備を支援</p> <p>(3) 地域住民による社寺の森等における風倒木等処理 ・豊かな森づくり総合対策事業(再掲) A 84,400千円 風倒木等の被害を受けた箇所を含む伝説・伝承の森や社寺の森の保全など、京の森林文化を将来に伝える取組を支援</p>					
担当課・係名	A 森の保全推進課 森 林 土 木 係 モデルフォレスト推進係	電 話 番 号		075-414-5028 075-414-5005 075-414-5006		
	B 林 業 振 興 課 林 業 振 興 ・ 府 有 林 係					

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	有害鳥獣総合対策事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	551,500千円	国庫	起債	その他	一般財源
		478,682	—	—	72,818
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>メスジカ等の捕獲強化や捕獲個体の処理施設の整備、防護柵の整備の支援、担い手育成等により農作物被害対策を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 生息数半減の推進（一部再掲） 310,000千円 有害鳥獣捕獲、複数市町村での広域捕獲、個体処分、狩猟期の捕獲等に対する支援、ジビエ利用拡大に向けた取組及び指定管理鳥獣捕獲等事業の推進</p> <p>(2) 被害半減の推進 231,000千円 防護柵の設置による農林業被害対策やニホンザルの個体群管理による被害対策等を支援</p> <p>(3) 担い手倍増等の推進 10,500千円 新規担い手の確保のための勧誘活動や捕獲班員の短期育成研修等を支援</p>				
担当課・係名	農 村 振 興 課 野 生 鳥 獣 係	電話番号	075-414-5029		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業費			新規・ 継続の別	継 続
予 算 額	13,750千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	13,750
事業内容 目 的 対 象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産水産物の生産・流通拡大、次世代の担い手育成により漁業・漁村を活性化する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都産水産物生産・流通拡大事業費 7,750千円</p> <p>①地域ブランドの新技术開発、生産拡大 ・生食用カキの試験生産用施設の改良・生産技術の開発 ・トリガイ養殖施設などの生産設備の導入支援 （府1／2、事業者1／2）</p> <p>②府内産水産物の生産、販路拡大 ・「海の京都」DMO等の関係団体が連携し、地産地消の取組支援、流通加工設備導入</p> <p>(2) 漁業・漁村の未来を担う若い漁業者育成事業費 6,000千円</p> <p>①漁業協同組合が行う漁船・漁具のリース事業を支援し、新規就業者（海の民学舎修了生等）の初期投資の負担を軽減</p> <p>②新規就業者のスキルアップ研修、漁業経営・リーダー養成研修の実施</p> <p>③定置網会社等の経営者を対象に商工部門の専門家等と連携し、経営改善研修を実施</p>				
担当課・係名	水 産 課	漁 政 企 画 係	電 話 番 号	075-414-4992	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	海洋調査船建造費		新規・ 継続の別	継 続													
予算額	180,500千円 (債務負担行為 1,581,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源												
		—	179,000	—	1,500												
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>水産制度改革に伴い資源管理の強化が必要となる中、府漁業の経営安定、漁村の活性化に貢献するため、海洋調査船「平安丸（平成9年竣工）」に代わる、最新の性能を備えた調査船を建造する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>最新の水産資源及び海洋環境調査機能を有する海洋調査船を建造</p> <p>(調査船の概要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新海洋調査船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竣工日</td> <td>令和4年12月（見込）</td> </tr> <tr> <td>登録長</td> <td>約35m</td> </tr> <tr> <td>総トン数</td> <td>180t級</td> </tr> <tr> <td>航海(最高)出力</td> <td>約14ノット</td> </tr> <tr> <td>主機関出力</td> <td>約1,500馬力</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施計画</p> <p>令和2年度 実施設計 令和3年度 建造工事 令和4年度 建造工事、竣工</p>						新海洋調査船	竣工日	令和4年12月（見込）	登録長	約35m	総トン数	180t級	航海(最高)出力	約14ノット	主機関出力	約1,500馬力
	新海洋調査船																
竣工日	令和4年12月（見込）																
登録長	約35m																
総トン数	180t級																
航海(最高)出力	約14ノット																
主機関出力	約1,500馬力																
担当課・係名	水産課 漁政企画係	電話番号	075-414-4992														

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部
建 設 交 通 部

事業名	農林水産業基盤整備事業費		新規・継続の別		継 続	
	予 算 額	8,417,008千円 (うち2月補正 3,888,000千円)	国 庫	起 債	その他	一般財源
			5,605,798	2,462,000	271,694	77,516
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 農林水産業のイノベーション実現のため、生産基盤を整備するとともに、安心・安全な地域社会の実現のため、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>■農林水産業の成長産業化を支える基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物への転換やスマート農業導入のための基盤整備 ① (国営亀岡中部地区、朝来中地区(舞鶴市)、平田地区(京丹後市) 等) ・用排水施設の機能保全や向上を図るための整備 ① (田辺排水機場地区(京田辺市) 等) ・老朽化が進む漁港等の長寿命化を図るための整備 ② ・収益性の高い林業経営を実現するための林道整備 ③ ・農村集落における汚水処理施設の整備(農業集落排水) ⑤ <p>■しなやかで災害に強い地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池災害の未然防止を図る改修等による防災対策 ① (梅谷地区(木津川市)【新規】、廻り池地区(亀岡市、南丹市) 等) ・海岸の保全と災害未然防止を図るための整備 ② ・荒廃森林の復旧と山地災害の未然防止を図る治山施設の整備 ③ ・災害に強い森づくりのための間伐や再造林等の森林整備 ③ ④ 					
担当課・係名	①農村振興課	計 画 基 盤 係				075-414-5048
		防 災 減 災 係				075-414-5053
	②水産課	漁 業 漁 村 係				075-414-4994
	③森の保全推進課	森 林 土 木 係				075-414-5028
	④林業振興課	林業振興・府有林係				075-414-5006
	⑤水環境対策課	計 画 係				075-414-5209
				電話番号		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	府内産農産物継続生産支援事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	40,000千円 (うち2月補正 40,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源
		40,000	—	—	—
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農産物の生産継続と産地の維持を図るために、農業者が組織する団体が行う品目転換や農産物の再生産に向けた取組を支援する。</p>				
目的 対象 方法等	<p>2 事業内容</p> <p>品目転換や再生産に必要な肥料・農薬費、生産・出荷資材費等を支援</p> <p>事業主体：3戸以上の農業者（府内の販売農家）で組織する団体 補助率：定 額 対象品目：京野菜、茶、花き・花木 (ただし、令和2年12月から3年5月に出荷するもの)</p>				
担当課・係名	農 産 課	京 野 菜 振 興 係 宇 治 茶 ・ 特 産 振 興 係	電 話 番 号	075-414-4953 075-414-4944	